

復興のバトン



東日本大震災津波の記憶と教訓を次世代へ。復興と共に進む方を紹介します。

第5回 道の駅たのはた・思惟の風

駅長 石井 扶佐子さん(田野畑村)



地元の若者が将来働きたいと思う道の駅に

2021年4月にオープンした「道の駅たのはた・思惟の風」。駅長の石井扶佐子さんは、神奈川県逗子市出身です。石井さんが田野畑村に移住するきっかけになったのは、東日本大震災津波。「少しでも力になりたいと思い、週末を利用して、瓦礫の撤去などのお手伝いをしていました」と震災後に被災地ボランティアとして活動した当時を振り返ります。

その後、ボランティア同士のつながりを通じ、岩手のさまざまな方との関わりが増えていったそうです。次第に地域の方の人柄や、豊かな自然に魅力を感じた石井さんは、20年勤めた会社を退職。2017年に地

域おこし協力隊として、田野畑村で新たな一歩を踏み出しました。

「人生は一度きり。新しいことにチャレンジしたいと思いました。移住してからはサップ船や塩づくり体験などのツアーガイドをしました」と石井さん。その後、持ち前の明るさを買われ、道の駅の駅長に抜擢されました。

「道の駅の仕事は多岐に渡ります。都会のようなオシャレさはないですが、やりがいのある仕事がここにはあります。地元の若い人が将来、ここで働きたいとUターンしてくれるような事業を展開していきたいと思っています」と石井さんは語ります。

新たな沿岸観光の拠点となる道の駅たのはた。チャレンジ精神あふれる石井さんが、田野畑村に新しい風を吹かせています。



県産木材を使用した温もりのある空間が広がる道の駅。地元の生産者による直売コーナーには、田野畑村の名産や工芸品などがずらり。地域振興の役割も担っています。



三陸国道事務所提供

7月10日に開通した「思惟花笑み大橋」は、三陸沿岸道路「田野畑南～尾肝要」の区間に架かる大橋。約100メートルの峡谷を渡る壮大なスケールは、県内随一。田野畑村の新名所として注目されています。

道の駅たのはた・思惟の風

売店、レストランなどが充実しているほか、一棟貸しの古民家や、キャンピングカー専用駐車場などがあり、利用者から支持されています。

下閉伊郡田野畑村菅窪151-6
開館時間 9:00~18:00
お問い合わせ 0194-32-3555
道の駅たのはた **検索**

